

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	在宅医療連携拠点事業			会計	款	項目	大	小
				08	03	02	01	05
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	早川 仁				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び在宅医療と介護に関わる関係職種	意図	医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの中核をなす医療と介護の連携構築と体制整備を図る
事業内容	医療と介護に携わる職種が集い連携推進を図るための「介護と医療をつむぐ会」の開催や、関係職種の代表者による「在宅医療介護連携会議」で医療と介護に関する課題解決を図る。関係職種間の情報連携を推進するためインターネットを利用した情報連携システムの活用を推進する。また、地域包括ケアシステムの啓発のため市民対象講演会を開催する。			
事業開始から現在までの状況変化	医療と介護の連携構築を図る事業については、平成27年4月から介護保険法の地域支援事業に位置付けられたが、医療と介護の需要の急増が見込まれる2025年に向けていち早く連携推進、体制整備に取り組むため、平成26年度千葉県在宅医療連携拠点事業（モデル事業）の指定を受け、10月より事業を開始した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	介護と医療をつむぐ会参加人数			474	
②	情報連携システム利用者数			10	人	↑↑↑	関係職種へのID発行数
③	市民対象講演会参加人数			180	人	↑↑↑	
④							
指標で表すことができない定性的な成果	医療と介護に携わるすべての職種を対象に関係職種が集い議論する会議の設置開催を行い、関係職種間の連携を円滑にする情報連携システムの導入を行った。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 医療と介護の関係職種が集う「介護と医療をつむぐ会」を5回開催し、関係職種が顔を合わせ市内の医療と介護の連携等について情報共有や意見交換を行った。医療と介護の関係職種の代表者で構成する「在宅医療介護連携会議」を3回開催し、医療と介護の課題について検討を始めた。3/15には市民対象に「高齢社会における地域づくりセミナー」を開催し180人の参加を得た。また、在宅療養者に関する情報共有を関係職種間で円滑に行うため、インターネットを利用した情報連携システムの導入を3月から開始した。		
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				10,225,709			
事業費(b)(円)				2,727,743			
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)				7,497,966			
人役・職員(人)				1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)				0.35			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	新規事業	③取り組みの課題	2025年に向けた医療と介護の連携上の課題解決のための会議体等の仕組みの構築はできたが、課題の抽出や検証、具体的解決は至っていない。
②今年度(H26)に実施した取り組み	新規事業	④今後の改善計画	今後は、医療と介護の連携推進や課題について検証し、具体的解決を図るべく事業を展開していく。また、地域包括ケアシステムについて市民への啓発を引き続き行う。